

# 瀬戸内の自然の恵みが いっぱい

## ゆうゆう交流館リヤカー市

「いらっしやいませ」「新鮮な野菜はいかがですか」。呂久町黒井山グリーンパーク・ゆうゆう交流館前広場で3月13日、地元の特産品を販売するリヤカー市が開催されました。

早朝から瀬戸内あけぼの会（三宅豊彦会長）や農家の皆さんが作ったホウレンソウやジャガイモ、ふきのとう、ハツサク、イチゴ、カキの佃煮など約100種類の野菜や果物、生花が並べられ、買い求めるお客さんでにぎわいました。この市の品は市価よりかなり廉価で販売され、今後も毎月第2日曜日の午前7時から9時まで開催予定です。



「いらっしやいませ」「これくださいな」と朝採り野菜が販売されます



アヒル米とアヒル肉を使った料理を試食

# 「癖なく食感も良い」 アヒル水稲同時作試食・意見交換会

アヒル水稲同時作の試食・意見交換会が2月21日、呂久保健センターで開かれました。

水田にアヒルを放し、無農薬のおいしい米と健康的なアヒルの肉を育てようと呂久町農業開発協議会が取り組み、試食会には関係者17人が参加。アヒル肉のトマトソース煮・カレー煮・ちゃんこ風スープと、アヒル米のおにぎりを試食。試食後、「癖がなく、食感も良い」などの声が多く寄せられました。

せられ、立岡脩二市長が「瀬戸内市は米どころ。市も応援していきたい」と述べました。

「今後は、アヒル米・肉の販路などの問題を改善し、地域の人たちが取り組みやすい態勢を整えていきたい」と同協議会の三宅克彦さん（27歳・呂久町山田庄）。

安全安心な食材の供給や地域特産物の普及面からも、市の農業振興への貢献が期待されます。

# 男女共同参画社会づくり促進に尽力

## 松本さんが振興局長表彰受賞

松本玲子さん（66歳・呂久町庄田）が3月3日、岡山地方振興局長表彰を受賞しました。

松本さんは、平成4年から呂久町女性フォーラム（平成11年呂久ライフ・フォーラムに改称）に入会し、男女共同参画社会の実現を目指し、問題解決のため

の実践的な活動を展開。平成13年2月、人形劇団「ちよう・かえる一座」を立ち上げ、人形劇で皆さんの意識啓発に努めています。

これらの長年にわたる男女共同参画社会づくり活動が認められ、今回の受賞となりました。



振興局長表彰を受賞し、笑顔の松本さん

# 福を手に入れた！

## 尻海神田稻荷神社もちまき会陽

邑久町尻海の神田稻荷神社で2月11日、もちまき会陽が開催され、大勢の人でにぎわいました。

34人の裸衆が練った後、やぐらの上から1万袋のもちがまかれました。その中には神木2本、宝筒2本、串子100本が入ったものもあり、訪れた皆さんはもち目掛けて懸命に手を伸ばしていました。

同神社では戦前まで旧暦1月14日の夜、裸衆数百人が神木争奪戦を行っていましたが、戦後、もちまきに変わりました。



もちまき前、境内を練り歩く裸衆

参加者の皆さんは、もちを目掛けて手を伸ばしました

# 有意義な一日過ごす

## 牛窓町栗利郷・福寿会が施設見学

牛窓町長浜栗利郷区の福寿会の皆さん34人が3月2日、市内外の施設見学を行いました。

黒井山グリーンパークのゆうゆう交流館では、『瀬戸内パルンフェスティバル』フォトコンテスト入賞作品展を開催しており、参加者は熱心に入賞者の作品に見入っていました。

東部クリーンセンターやリサイクルプラザを見学した猪熊弘明さん（77歳）は、「家庭ごみを出さないようにすることや、リサイクルの必要性を再確認しました。参加したみんなの意識が変わったと思います」と感想を話しました。



ゆうゆう交流館でフォトコンテストの作品に見入る福寿会の皆さん



色とりどりの服を身にまとい、ちょっと得意げな子どもたち

# ヒーロー・ヒロイン誕生

## うさぎの学校の子どもたち

3歳未満の未就園の子どもたちが月に一度集まり、みんなで遊ぶ「うさぎの学校」が3月9日、長船町公民館で開催されました。

この日は、78人の親子が参加。「ヒーロー、ヒロインになっちゃおう！」と、ピンク・青・緑・黄色のビニール袋の中から子どもが好きな色を選び、お母さん

と一緒に服作り。シールや紙テープを使って模様を施し、ヒーロー、ヒロインになりました。

最後に、一年間うさぎの学校に通い、友達やお母さんといっぱい遊び、いろいろなことができるようになったと、修了証書が一人ひとりに手渡されました。